

令和2年度
卒業時アンケート
集計結果

アンケート概要

- 調査日：令和3年2月6日(土)
- 実施場所：卒論等発表後の各教室内
- 対象者：令和3年3月卒業者 25名
- 有効回答数：25
- 回収率：100%

集計結果の見方

- 円グラフ：回答の割合（％）及び回答数（数値）を示したもの
- 棒グラフ：項目ごとの回答数を示したもの（主に複数回答項目で使用）
- 推移のグラフ：4件法の上位2項目（例：とても充実&充実等）を合算した割合を過去4年分で経年比較したもの
- 自由記述内容：4件法の上位2項目及び下位2項目それぞれから視点が異なる記述内容を抜粋したもの

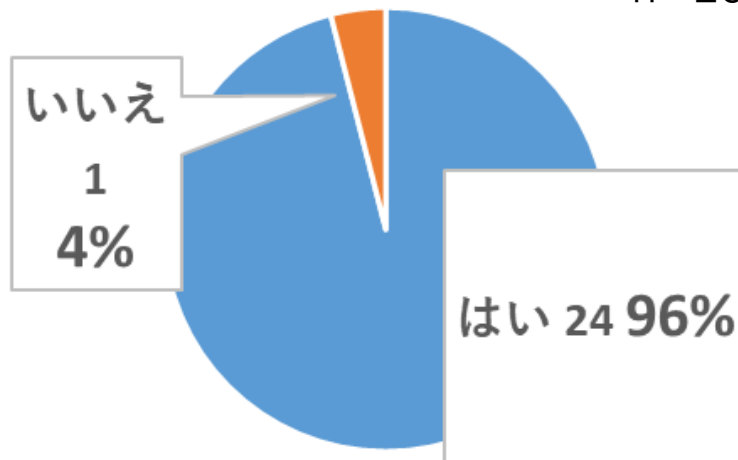
1. 資格課程について

(1)資格課程を履修していましたか

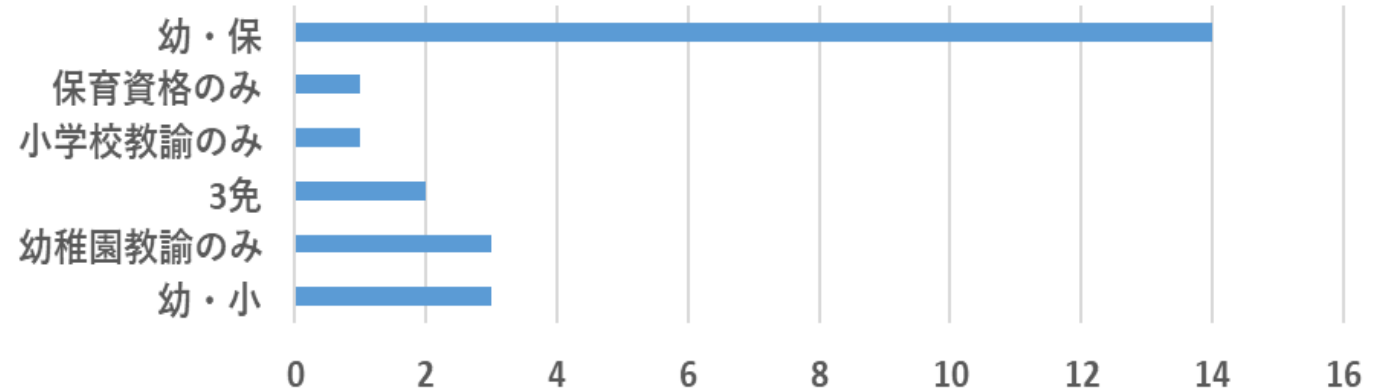
(2)どの資格課程を履修していましたか

Q1-1 資格課程を履修したか

n=25



Q2-2 資格課程履修状況



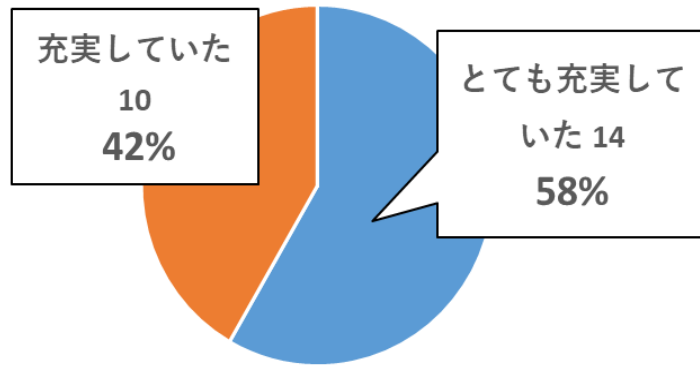
	幼・小	幼稚園教諭のみ	3免	小学校教諭のみ	保育資格のみ	幼・保
■ 系列1	3	3	2	1	1	14

1. 資格課程について

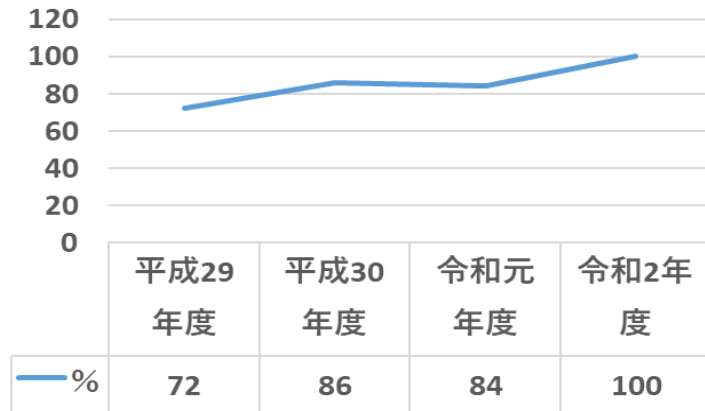
(3)保育士課程、幼稚園教諭課程、小学校教諭課程の学修は充実していましたか

Q1-3 課程の学修について

n=24



Q1-3 推移（充実度）

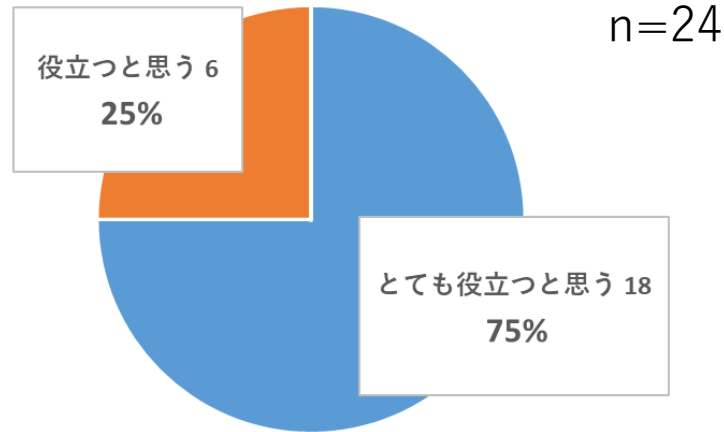


< 充実していた理由 >

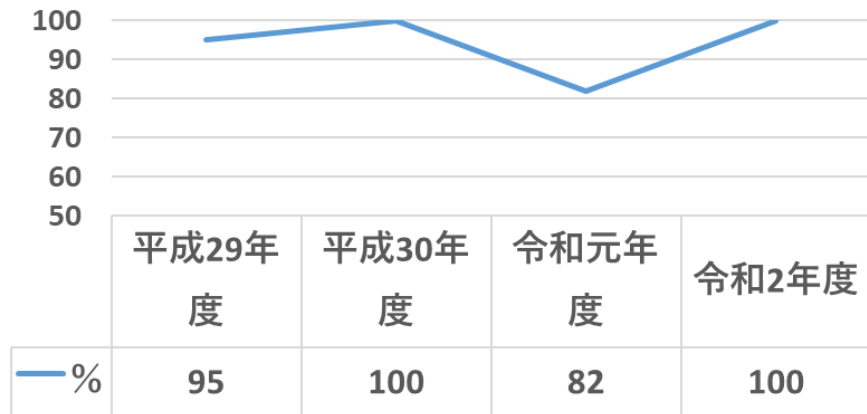
- ◆ 様々な授業を通して、新たな知識、多くの知識を身に付けることができた。
- ◆ 保育者を目指す者として、実習を経験するなど社会勉強にもなった。
- ◆ 実践的な内容が多かった。

2. ピアノ・リトミック・造形・絵画表現・言語表現（絵本・読み聞かせ）などの学修は、卒業後の生き方や進路に役立つか

Q2 【表現系科目】 生き方や進路に役立つか



Q2 推移



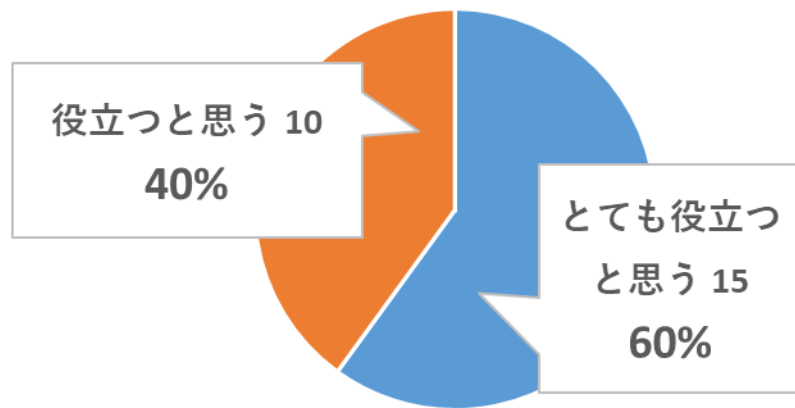
<役立つと思う理由>

- ◆実習や、幼稚園・保育園等に就職した後にも役立つ。
- ◆芸術文化の流れを汲んだ感性の教育は自分にとってとても楽しく学べるものであった。大学生活で何度も、感性の重要性、感性の教育という言葉聞き、ひとつの分野として誇りを持って学ぶことができた。
- ◆絵本の読み聞かせの技術などについて丁寧に指導を受けた。
- ◆自分の考えや可能性の幅を広げられた。

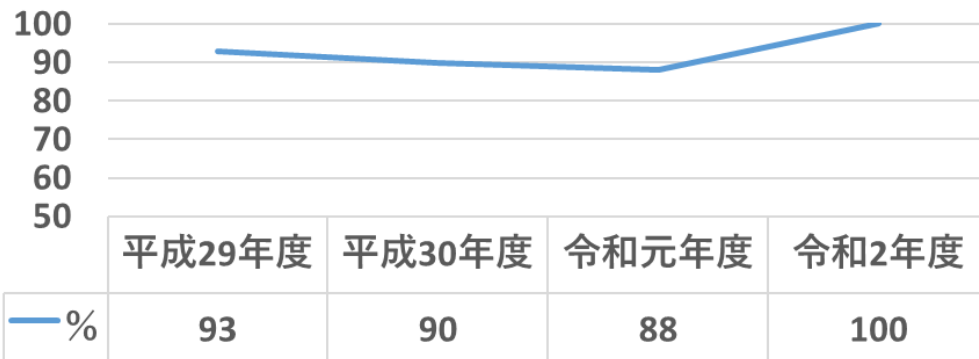
3. 体験的・実践的な学修（例：野外文化活動、言語文化海外実習、リベラルアーツ学習、小学校インターンシップ等）は、卒業後の生き方や進路に役立つと思いますか

Q3 【実践型科目】 生き方や進路に役立つか

n=25



Q3 推移

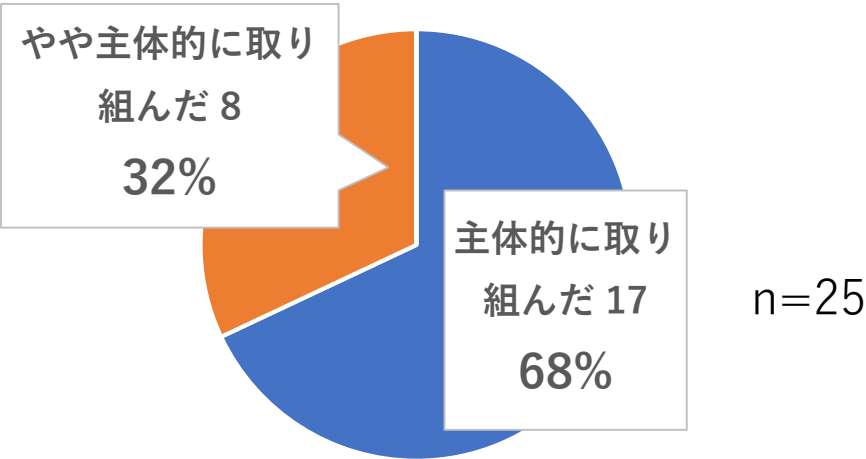


<役立つと思う理由>

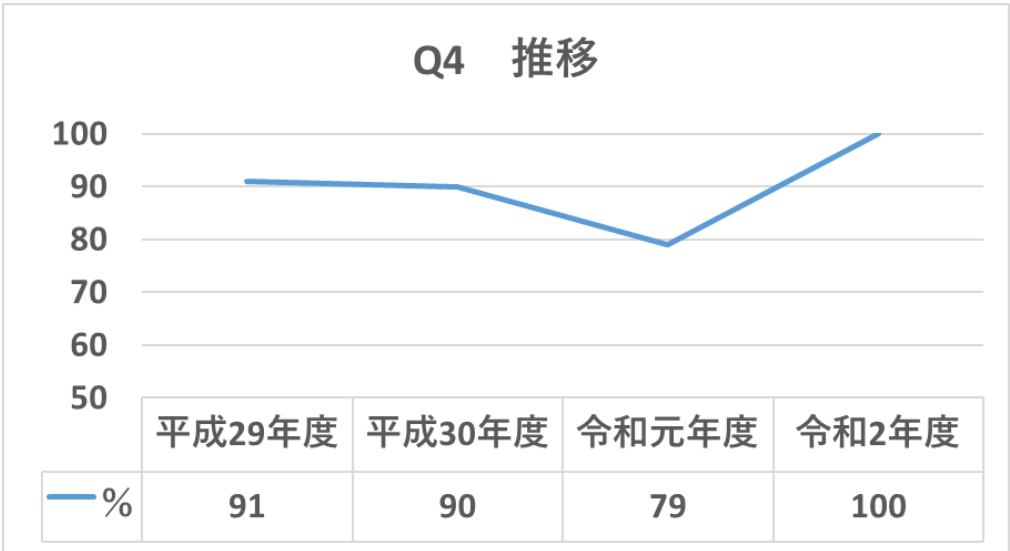
- ◆保育士、幼稚園教諭になるには必要であり、保育者としての心構えをつくることができる。
- ◆実践的・体験的で、社会性が身に付いた。
- ◆就職に関係なく、人生経験として貴重な体験である。
- ◆子どもへの伝え方、子どもとの関わり方を学ぶ上で役に立つ。
- ◆多角的視点から見つめ直す事で自分の長所・短所もわかり、新しい学びが増える。

4. こども文化セミナー(ゼミ)の学修に主体的に取り組みましたか

Q4 【ゼミ】 主体的に取り組んだか



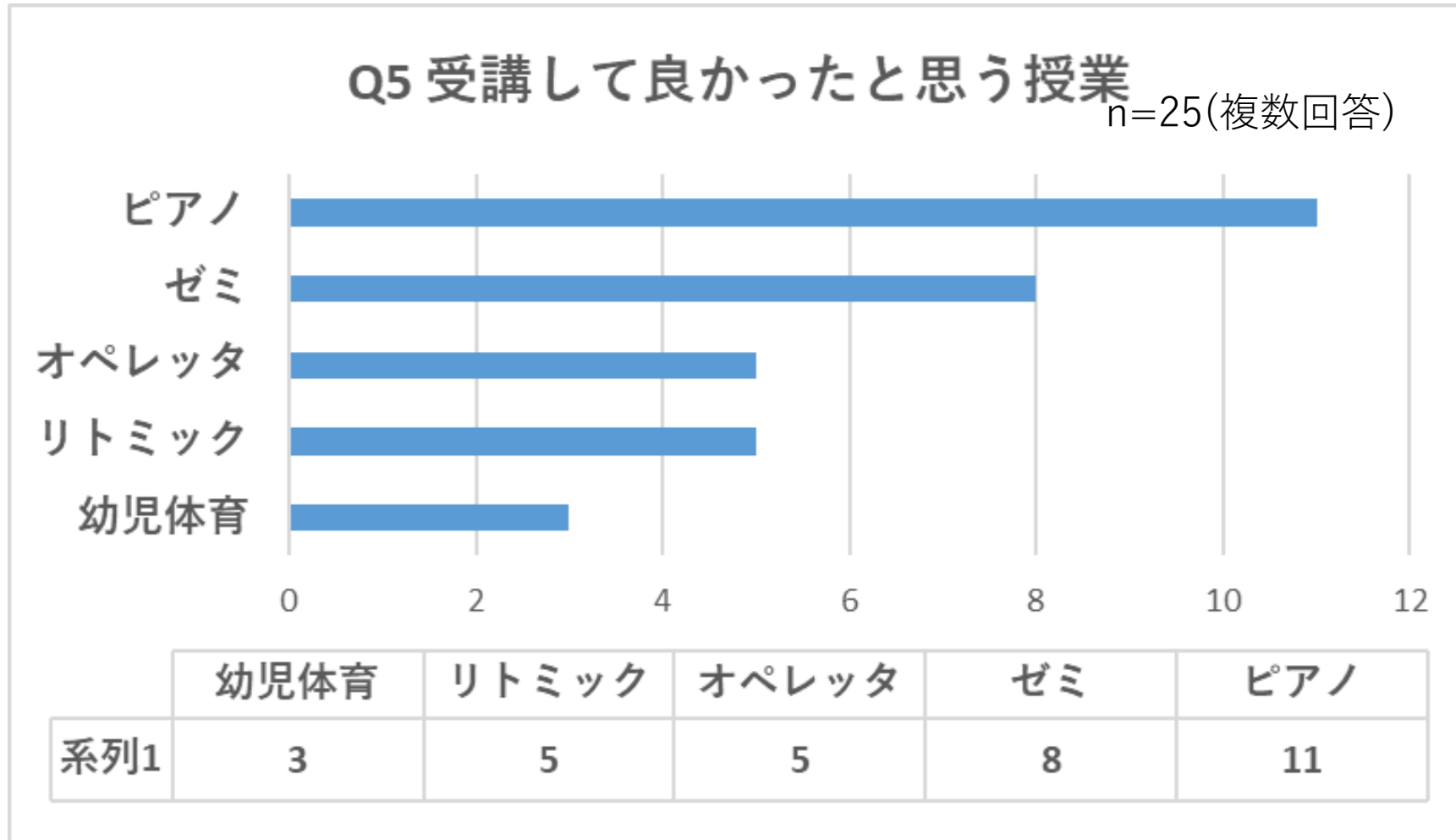
Q4 推移



<主体的に取り組めた理由>

- ◆自分が学びたい、興味・関心のある分野（ジャンル・テーマ）について詳しく研究を進められた。
- ◆基礎的知識として必要であり、社会に出る上で重要かつ、やるべきことである。
- ◆先生とのやり取りが楽しく、自分のやることに対して先生が全力で答えてくださった。

5. 受講して良かったと思う授業について



ピアノ：
約2人に1人が
選択(41%)

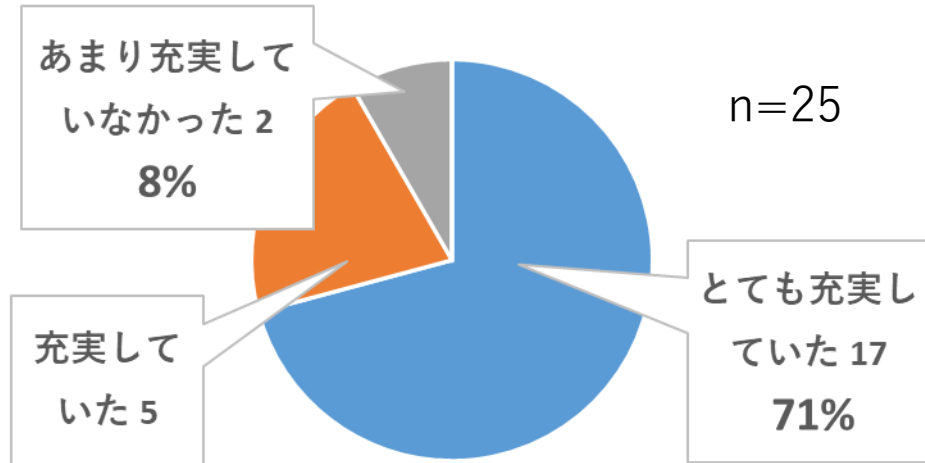
ゼミ：
約3人に1人が
選択(32%)

<令和元年度 (n=34) ピアノ (21) 子どもの保健 (8) リトミック(4)
<平成30年度 (n=31)> 詳細不明：ピアノ約半数が記入

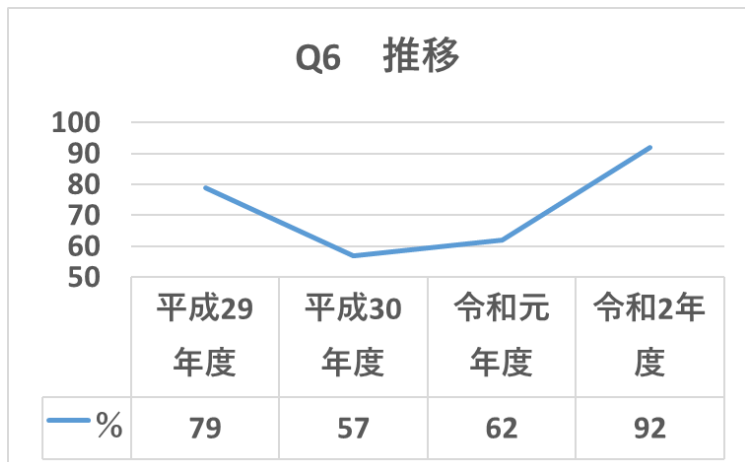
6. 学修以外の活動について

(1) 学生会、聖母祭、こどもの国のクリスマス、クラブ活動、研究班、ボランティア活動は充実していましたか

Q6 【学修外活動】 充実度



Q6 推移



<充実していたと思う理由>

- ◆多様な（楽しい、面白い）活動を通して、コミュニケーション力などを身に付けることができた。
- ◆高校までとは異なる経験を通して多くを学ぶことができた。
- ◆委員や委員長として取り組むことができた。
- ◆様々な経験に積極的に取り組むことができた。

<充実していなかったと思う理由>

- ✓強制参加が多かった。
- ✓文化祭をする意味を感じない。

6. 学修以外の活動について

(2) 学生会活動、聖母祭、こどもの国のクリスマス、クラブ活動、研究班、ボランティア活動 以外の学修について何か参加したことはありますか

令和元年度

- ◆ トーンチャイムの演奏
- ◆ 創立記念行事
- ◆ 大学でのインタビュー
- ◆ リトミック室の壁面装飾
- ◆ 上智大学交流学生
- ◆ フランシスコ教皇の来日

令和2年度

- ◆ 多摩市被爆地（長崎）派遣
- ◆ クリスマスコンサート
- ◆ 書店における読み聞かせ

7. 本学での学生生活を振り返り、自分に身についていた資質・能力にあてはまるものの全てに○をつけてください

<令和2年度 回答状況>

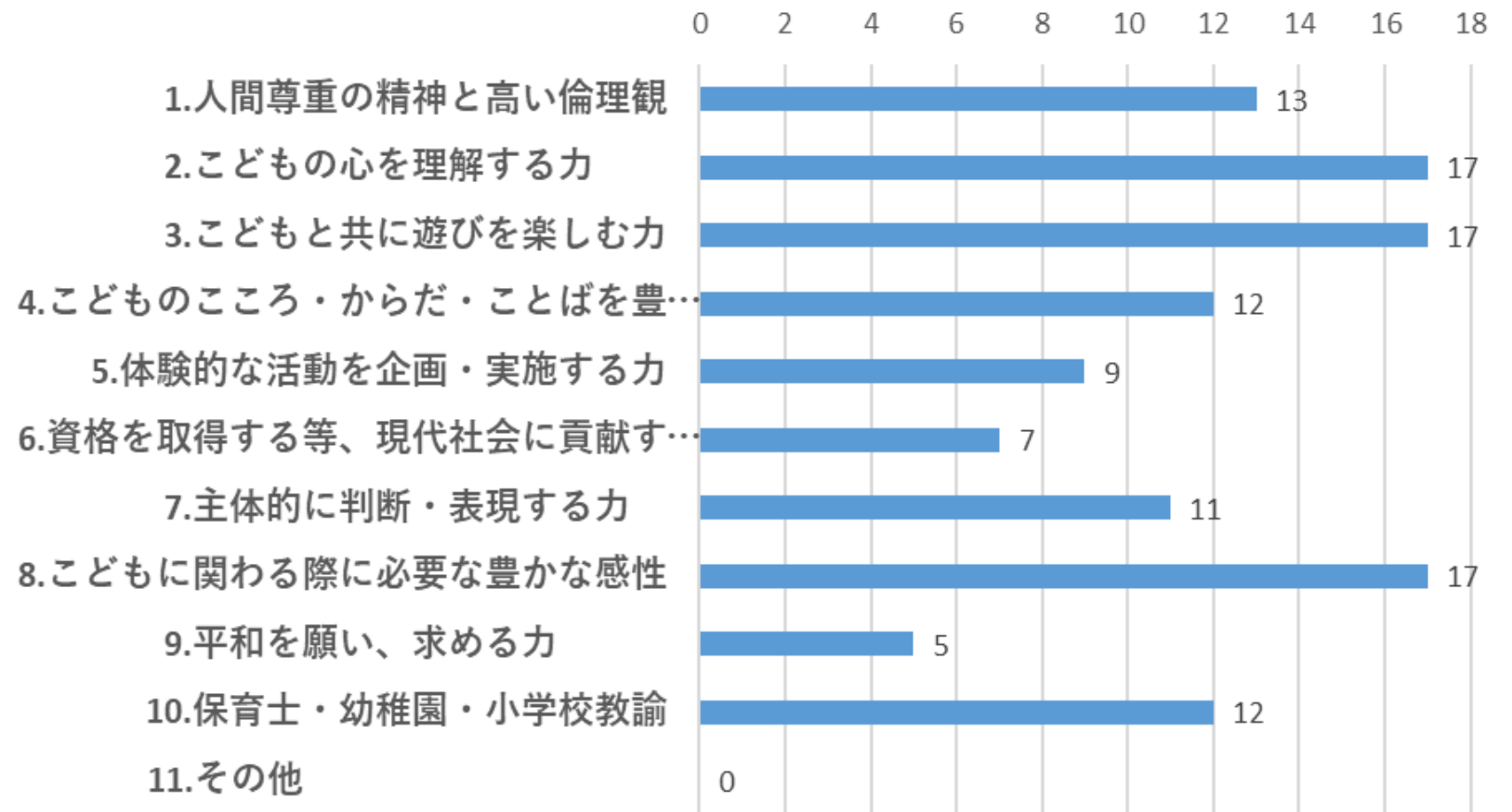
- ・一人が○をつけた回数

平均：4.7回

最大：10回(3人)

無記入：1人

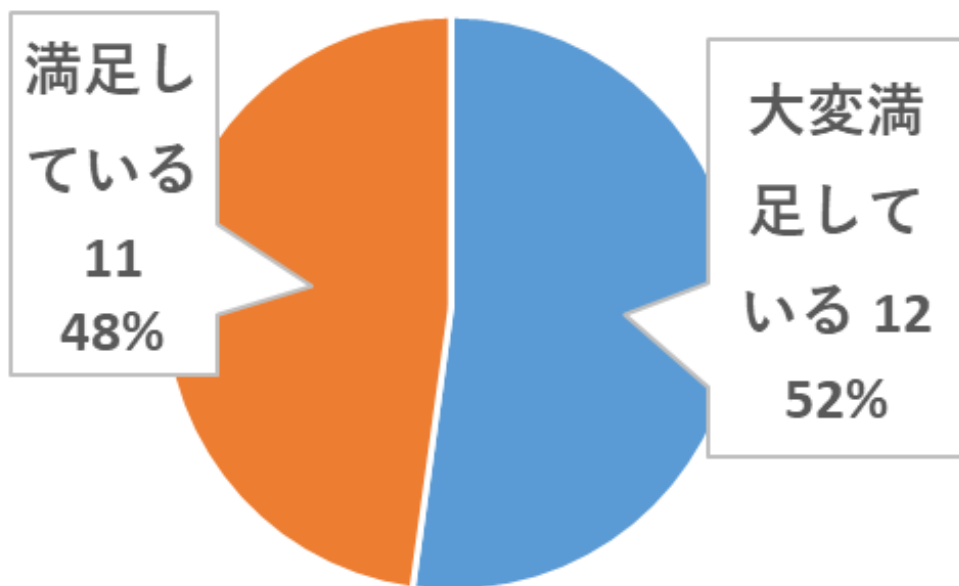
Q7 身に付いた資質・能力 n=25(複数回答)



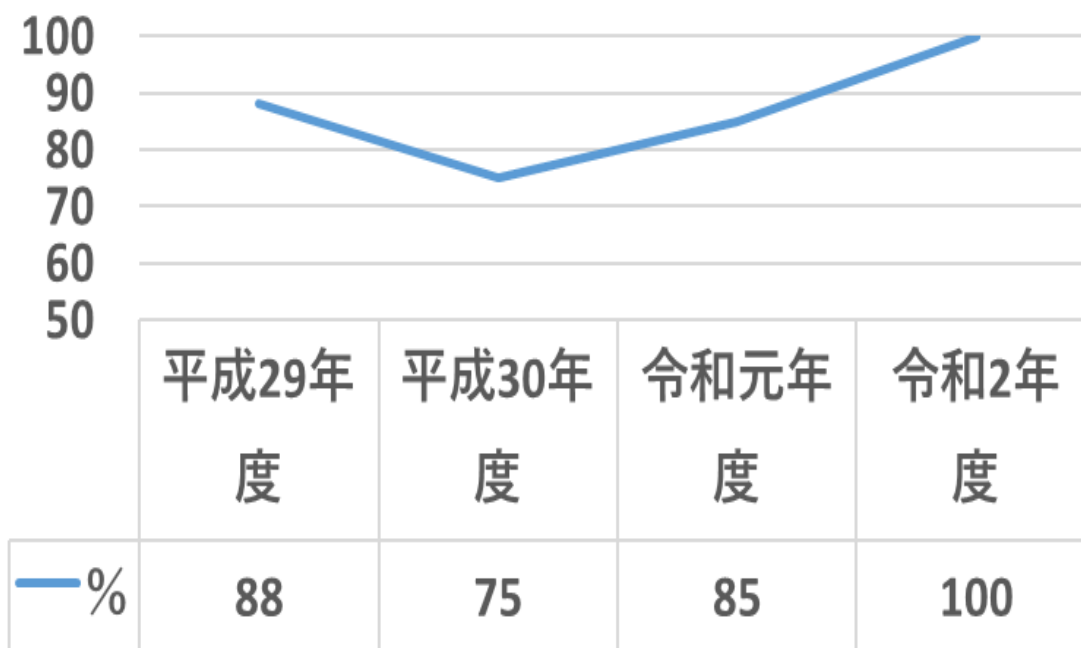
8. 1~7を踏まえて、純心大学での大学生活に満足していますか

【大学生活】 全体満足度

n=25



Q8 推移



考 察

1. 資格課程について

- ・保育士、幼稚園教諭資格の併有率が、昨年度から16ポイント高くなった。
(令和2年度は約67%、令和元年度は約51%)

※参考値：幼稚園教諭免許状取得者の保育士資格併有率は約80% (平成22年5月 文科省調査)

3. 5. 質問項目の結果について

- ・本学科の特色である「**表現系の科目**」「**実践型の科目**」の学修については、概ね満足度が高い結果が示されている。特に、ピアノや絵本の読み聞かせ等の実践的・体験的な授業が高い評価を得ている。

6. 学修外活動について

- ・唯一、否定的な回答があった設問である。授業以外の活動に、主体的に参加する意義等を事前に周知し、参加・参画度を高めていく。